

第28号
 発行日:平成12年10月20日
 発行所
 東京青山同窓会事務局
 〒107-0062
 港区南青山3-18-4-304
 (有)ジェイ・クラブ内
 TEL. 03-3423-3591
 発行者 佐藤 邦雄

東京会報

東京青山同窓会
 ー東京青山同窓会年間維持費ー
 1口/1,000円2口以上(年間)
 会計幹事:山根 伸之(64回)
 振込先
 安田信託銀行 本店
 普4782496 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成12年度 東京青山同窓会 講演会・新人歓迎会

平成12年11月23日(金) 於:ホテルニューオータニ

当日は、梅雨の真っ盛り、東京は、日中は、かなりの雨であったが、夕刻には止み、それでも傘を持たずに出るのは少し危険などんよりとし、気温は、数日前よりは幾分涼しめの夕空のなか、燦々訪れる懐かしい顔があちらこちらに見える。今回は、これまでと違って、テーブル席をくじ引きで決め、偏りがちな交流を排する工夫をしたとか。お陰様で、同じテーブルには、新人に近い人もいれば、先輩もいる。最初のうち、村山広義先輩(63回)の講演までは、何となくのぎこちなさもあったが、そのうちに、懇親会に移ると、新旧入り交じってわいわいがやがや楽しい雰囲気なのなかの交流ができた。約百名近くの出席

とのこと、遙か新潟からも、上村同窓会長、昨年度の3年生担任の石崎先生、渡辺先生も見えられ、石崎先生のご挨拶によれば、石崎先生は来年度に退官を迎えられるとのこと。年月を数えれば、丁度、私の入学年度に新潟高校に赴任されたとか。ご挨拶にと思いつつも、アルコールが入って、ついぞその機会を逸してしまった。

前東京高等検察庁・検事長であられた村山先輩のお話は「刑事司法の課題」という演題で、日本の刑事司法の現状、特に、最近新聞紙上を賑わしている警察であっても、日本の治安は、世界的に見ても、低い犯罪率、高い検挙率、低い起訴

率、低い刑事収容率など、普段では知り得ない数値情報に裏付けられた日本の刑事司法の実体が聞かれた気がした。

昔、2度目の学生時代に法学部で教わった刑事訴訟法の講義を思い出し、そのころ問題とされた「別件逮捕の問題」や「ガサ入れに伴う収集証拠の証拠能力」等の問題の推移を個人的には聞いたかった。

その後、富所先輩、同期菊池隆の先導で、旧制新潟中学校歌、新制新潟高校校歌を斉唱、和気あいあいのうちに、通例となっている二次会場へ。今年も予定の人数を遙かに超える5、60名の二次会参加者で盛況であった。

(大滝 均 74回)



20世紀の締めくり総会 に当たって

東京青山同窓会
会長 栗林 貞一(59回)

東京青山同窓会の皆さんお元気で活躍のことと思います。

最近の日本の経済には少し明るさが見えてきましたが、まだまだ課題は多いようです。社会的にも暗いニュースが多く、日本全体の建て直しが必要です。この世紀末を吹きとばすのはオリンピックだけなのでしょう。

7月には新潟の青山同窓会総会に東京勢数人で出席してきました。例年どおり集積者は700人余で大盛会でした。

母校の新校舎はすでに竣工し、その他の施設も整備が進み、そして平成14年には創立110周年を迎えます。戦争など困難な時期を乗り越えて今日の隆盛を

築いた諸先輩の心意気とご苦勞が思われます。

私も東京青山同窓会の会長に選任されて早2年。会員の皆さんのご協力で楽しく有意義にをモットーにやってきましたが、実際皆さんに喜んでもらえるような企画や運営はなかなか難しいものだと知りました。さらにこの会を前進させていくためには、会員の皆さんの前向きな気持ちが必要なことは申すまでもありませんが、とくに各期とも学年幹事を中心に同期の皆さんが誘い合わせて、総会や新人歓迎会に大勢出席していただくことが肝要です。是非皆さんの奮発をお願いします。

偶数月第二火曜日の会(新橋亭午後7時頃)も順調に滑り出しました。顔を合わす場は色々あります。楽しくやりましょう。

この秋の総会は最近はやりの言い方をすれば、今世紀最後の同窓会総会です。出来るだけ多くの仲間が相集い、21

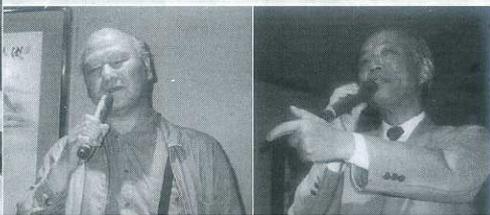
世紀に向けて大きく踏み出そうではありませんか。

新人歓迎会スナップ



偶数月第二火曜日の会

柳通 こそえ (105回)



私は、おいしいものを食べながらお酒を飲み、友人と語り合うことが大好きで、普段から友人同士集まり食事会をすることが多いのですが、そんな私が楽しみにしている会の一つに「偶数月第二火曜日の会」があります。

皆さんは、青山同窓会にこのような会があることをご存知でしょうか。ご存知でない方のために御紹介いたしますと、「偶数月第二火曜日の会」とは文字通り偶数月の第二火曜日に開かれる会のことで、新橋の新橋亭で行われます。様々な世代の方々が集まり中華料理をいただきながら

からお酒を酌み交わし語らい、世代を超えて楽しむことができる会です。総会よりも参加者が少ないので、いろいろな方とじっくりとお話することができ、青山同窓会員のより一層強い結びつきが生まれると思います。

新潟高校の先輩は各方面で活躍なさっているの、特に私のような学生にとって、先輩からお話をうかがう事はためになることばかりで、人生勉強になります。私は、4月、6月と出席しましたが堅苦しい雰囲気は一切無いので、学生でも楽しむことができ、おまけに学ぶことも多くとても貴重な時間を過ごすことができるはず。学生以外の方も日常のビジネスから離れて円卓を囲んで同郷の志と楽しい時間を過ごすことはとても有意義な時間となるでしょう。

2ヶ月に一度開かれるこの会には是非参加してみてください。総会とはまた違った楽しさ、東京青山同窓会の奥の深さが味わえるのではないのでしょうか。それでは皆さん「偶数月第二火曜日の会」でお会いしましょう。

偶数月第二火曜日の会

平成12年12月12日(火)(兼忘年会)
平成13年2月13日(火)・4月10日(火)・
6月12日(火)

新橋亭しんきょうてい(新館)
港区新橋2-4-2
Tel:03-3580-2211

75回の祭り

曾我正男記(75回)

旧盆休みの中、8月12日(土)75回同期会が新潟東堀「錦城閣」で開催されました。

当日は昼に「瀧澤杯争奪七五会ゴルフコンペ」が阿賀高原ゴルフクラブで行われ、15名が参加しました。

夕方6時30分に親睦納涼会がスタートし、例年の通り瀧澤先生(前校長)の挨拶のあと幹事の音頭で乾杯。続いて今回初めてこの会に参加した2名が紹介され、挨拶とともに38名の懐かしい顔・常連の顔とが交流し、話が弾みました。

この日の中には同級生同士の夫婦(10組の谷澤君と照井さん)も一組参加。今回は兵庫県の西宮から車を飛ばしての里帰りとのことでした。さすがにメンバーから冷やかされながらも思い出話を中

心に一次会、二次会と楽しんでいました。

二次会は中華料理から刺身を交えた和食の座敷で人数もほとんど減らず、30名以上の参加がありました。

「近況報告」から「青春の思い出」、そして「家族や健康」をテーマに4時間半に及ぶ納涼会でしたが別れも惜しいとばかり、三々五々、三次会へと繰り出していきました。

り、三々五々、三次会へと繰り出していきました。

かくいう私もシンデレラタイムまで4人でカクテルを飲んで酔い、「祭りが終わった時からまた次の祭りを楽しみに待つ」という心境で深い眠りの底に落ちてゆきました。



「青山七五会」納涼会

平成12年8月12日(土) 於 錦城閣

78回同期会報告

肥田博子(78回)

第78回卒業生の卒業30周年を記念した祝賀会が7月29日(土)、新潟グランドホテルにて盛大に行われた。この会は、5年前に山岸先生より「極楽会」と命名されている。参加者は、先生6名(小田、関根、奈良、本田、山岸、渡辺の各先生)と卒業生72名の計78名。新潟はもちろん、全国各地から集い、仲にはニュージーランド・台湾の国外から参加者もいた。

司会は山口正人君。生徒会長をしてい

た五十嵐裕司君の挨拶に続き、先生全員に挨拶をいただいた。小田先生が開会に先立ち、お得意の作品を披露してくださり、座が大いに盛り上がった。体調を崩しているらっしゃる関根先生はかなり回復している様子だった。ついで、母校に30周年記念品料贈呈の発表があった。幹事の尽力の結果、欠席者からも協力金を仰ぎ、相当の募金が出来たのではないと思われる。9月21日に有志の手で、無事寄付されたとのことである。

記念撮影のあと、懇親会に移った。各クラス、担任を囲んでの昔話に花が咲いた。女性の参加者が多いため、終始華やかな

雰囲気にも包まれていた。最期に恒例の「青山」斉唱。リーダーは昔の応援団、脇川弥寿彦君。山岸先生も飛び入りリーダーとなり、熱気に満ちたフィナーレとなった。

二次会は同じグランドホテルの1階「滋養クラブ」にて行われた。さらに名残を惜しもうと、小グループにわかれ新潟の町へ向かったそうである。

以上、当日用事のため欠席した肥田(旧姓藤田)が、新潟の学年幹事小林直毅君より送られてきた詳細な資料をもとに書きました。小林君、ありがとうございました。第78回卒業の皆さん、そのうち東京でも学年会をしませんか。

85回同期会報告

奥村 基(85回)

8月5日オークラホテル新潟で、2年振り2回目の同期会が開かれた。当日東京方面より13:05池袋発の高速バスに乗る。天気は良好、夏休みとあって帰省や旅行の学生達が大勢乗り込んでくる。うしろの女子大生二人組は、おしゃべりで忙しい。静かに窓の外を眺めようと思っていたのに何だか騒々しい。それでも果たしてどんな話をしてるのか聞いてみると、どうも

二人は同じ飲み屋でアルバイト中らしい。お客の事で話は尽きない。エンジョイしている様子で少し羨ましくなる。バスは湯沢あたりで雷雨の中を走る。稲妻の光にキーンキーン悲鳴を上げる二人組。「でも車の中は安全なんだよね。」とちゃんと知っている。

長岡を過ぎると雨は上がり田んぼの緑が夕日できれい。新潟に近づき今度はうしろはケータイで話し始める。着いてからの遊びの段取りらしい。見えない相手も加わり、うしろはますます盛り上がる。だがうるさい。バスが市街に入ってきた。この時、静寂は訪れた。道は夕刻のラッシュ

ユで動きは鈍い。今では当たり前になったファミレスやカラオケ店などが見える。でもうしろの二人は息を飲んで新潟の風景に見入っていたに違いない。

新潟駅に着くと、そこが間違いなく新潟駅だったことに感動を覚えた学生の頃を思い出す。

その日は、およそ高校生とは思えない人達、そして先生方と再会してきた。遠山君の手際良い司会で始まり、佐藤さんの琴の独奏では、彼女の隠れた才能に驚かされる。お互い顔だけは知っていたけど、やっと初めて話しができた人もいた。やっぱり新潟はなつかしい。

寄稿

ホームヘルパーの資格を とりました

大野 隆治(67回)

私は今年三月に、定年退職となりました。五年ほど前から、三鷹市の老人給食をボランティアで手伝いをしていました。私の仕事は和食の調理士ですので、楽しくやっていました。そのせいでしょか、ホームヘルパーの資格を取るために通信教育の講座を受けました。マークシートの試験、レポート提出も終わり、実習で老人ホームに行き、体験学習です。その時の話

しをちょっとだけします。

八十才女性Nさんの朝食介助です。話しかけても、なんの反応もありません。背をのぼし車椅子に座り、テレビ画面を見るだけ。朝食を台の上におきます。手をつける様子もありません。「Nさん、朝御飯食べよう。」Nさん無言。ようやく牛乳をごくごく飲みました。次には果物のブドウを、味噌汁を、おかゆも、野菜煮も、不自由な両手を使い、ゆっくり急がず、全てを食べました。固形食の次は流動食、時々“ゲップ”をしながら。

私は、じっと静かに見つめているだけでした。Nさんは、たまに呼吸がとまるの

だそうです。体をゆすって大声で、「あっちに行っちゃだめよ。」と呼びかけると、目を明けて大きなため息をして気がつくそうです。たまたまた実習生をNさんは、理解できないのだと、私は考えました。実習時間も終わりNさんの所に行き、「今日は1日、ありがとうございます。」とNさんの手を握って言いました。Nさんは顔を私にむけて「ごころうさん、ありがとう。」はっきりとうなずきながら声を出しました。私は大声で、さげびました。「あっ!しゃべった。口をきいた。」Nさんはやさしい顔をしていました。私は、本当にうれしく思いました。今日一日は良い日だったと。

寄稿

私の就職活動

早稲田大学法学部4年
遠藤 亮(105回)

誠に僭越ながら、私の就職活動並びに、昨今における大学生の就職事情について述べさせていただきます。

昨今、企業側の採用活動は一段と早期化しており、早い企業では2月の中旬頃から会社説明会を開始していたようだ。私の場合は、大学で基礎スキーサークルに所属していることもあり、山を下りて本格的にOB訪問、会社説明会などへの出席を始めたのは3月20日からで、大学の友人と比較するとやや出遅れ感否めなかった。そこで私は、受験する業界をほぼ総合商社、銀行、損保、証券に絞り、4月にはいと電話、インターネット、葉書と様々な手段を用いて企業と連絡をつけ、会社説明会、OB訪問、面接へと臨んだ。企業側の採用活動がピークを迎えるのは、業界によっても異なるが、私が受験した業界では、銀行→証券→損保→商社の順に4月中旬から5月上旬がピークであった。4月第3週には述べ15社と接触している。他方、メーカーなどは5月、最近流行のシステムエンジニアなどは6月ごろがピークであったようだ。

さて、内定については4月25日に大和証券から頂きかけたが、これを保留し、ゴールデンウィーク明けに某総合商社最終面接を受けた。しかし縁がなく、5月12日に改めて大和証券から内定を頂き、就職活動を終了した。

最後に就職活動全般の感想としてはやはり『氷河期』であったと思う。中には3～

4社内定を取りつける学生もいるが、未だに活動を続ける学生もいる。私自身も第一志望業界であった総合商社からは採用を抑えていることもあってか、内定を頂くことはできなかった。

学生生活も残すところ半年間となり、来年からは私も日本経済の一翼を担うことになる。残り半年間、思う存分英気を養い、証券マンとしての第一歩の備えたいと思う。

寄稿

青山葦原定期野球戦

藤縄 利勝(75回)

盆休みを利用して、墓参りと叔父の見舞の為上越方面に向いた折、新潟小針球場まで足を伸ばして、野球部の「青山葦原定期戦」に初めて顔を出してみました。このシリーズは、我校と新潟商高の次期新チーム同士の新人戦と、両校OBによる親睦戦及び懇親会がそれぞれ行われるもので、20世紀最後となる今回で24回目となり、ここ数年は8月15日に開催されております。毎回不参加の小生といたしましては、急遽、同期丸山氏と事務局局長大塚氏(77回)に連絡をとり、試合不出場を前提に参加することとなりました。

当日小針球場の正面ゲートをくぐって見廻すと、長老竜島(56・57回)・福高(57回)大先輩、宮川会長(58回)、田村元部長監督(62回)をはじめとしたOB諸氏がネット裏に陣取り、既に始まっている現役戦の拙攻拙守に対し、痛烈な叱声を浴びせています。卒業以来初めて顔を合わす面々が、相も変わらぬ野球狂の血走っ

た目で、グラウンドのプレーに見入っています。小生がいさつに立入ると、誰となく「なんで、プレーの仕度をしてこねんだ」との返礼。一気に懐かしさがこみ上がってきます。こわい先輩の見守る中緊迫の現役戦が、我校の勝利でようやく終わり、次はまさに圧巻のOB戦。大塚監督率いる我が青山の先発メンバーの平均年齢は、何と57歳。一方、葦原も勿論60歳近く、ほとんどが孫がいる方々。救急車の用意でもしておいたほうが…との心配もプレーボールがかかってしまったら、全くのとりこし苦勞。青山の先発は小生のかつての女房役丸山君、草野球で鍛え続ける絶妙のコントロールで、内野ゴロを打たせると往年を彷彿とさせる県庁野球部高橋氏(73回)のピンチを救うゲッツプレー。クリーンヒットを連発した最年長大橋氏(61回)。華麗なライトヒティングの田村元監督。丸山氏をリリーフし、早朝野球を含め1日で2試合を消化した超人湯浅氏(63回)、巨腹を利した豪打の広瀬氏(69回)、体力を自覚しシユアなプレーに徹した阿部氏(71回)、災天下本塁を死守したファイター宇貝氏(77回)、現役時以上の攻守をみせた日赤長岡のDr.藤原(77回)、今年も小針球場ライトフェンスに大飛球をぶつけ、さすが東大時代神宮のスタンドに4本ぶちこんだスラッガーぶりを魅せつけた平尾氏(79回)。糸を引くようなライナー放ち現役時4番の健在ぶりを発揮した白井氏(79回)。左中間を気合で割った特許庁の怪人星野氏(84回)。はつらつとしたOB最年少富山氏(95回)。みんなのプレーを目のあたりにして小生もじっとしてはいられなくなったが、今回はキャッチボールにとどめました。試合は大

接戦の末、逆転で青山の惜敗に終わりましたが、その後富田野球部長、伊藤監督、中野幹事長(72回)も加わり、青山・葦原入り乱れての大宴会となりました。最後は、両校全員で双方の応援歌の大合唱。終わるを知らない大音声で、隣りの客から苦情が入り、従業員よりレフリーストップ。小生も21世紀初となる来年、投げることを皆に宣言し、宴まさにたけなわにて散会となりました。帰りの“あさひ”車中にて想うに、この定期戦は毎年8月15日に開催ということだが、この日は終戦記念日。正午の黙祷が風物詩の夏の甲子園大会は真只中。両校は出場を最初からあきらめて、OB会を設定しているのだろうか？ちがう！遠い遠い甲子園のアルプススタンドに立って母校の応援をすることに夢をはせ、屈辱の甲子園を災天下の小針球場で催しているのでありましょう。何はともあれ、小生としては2001年8月15日の登板に備え、来春2月1日にはトレーニングを開始しようと思っています。

話題の人
竹本恵さんを囲む会
星野 紹英(84回)

去る9月26日、現在東京大学野球部で活躍している竹本恵さんを囲んで昼食会が開かれました。不肖私星野も同席いたしましたので、簡単にご報告させていただきます。

《竹本恵さんて誰？》
昨年3月新潟高校を卒業(107回)し、同

同窓生Yellowpages—その1

写真家
記憶の断片
奥村 基 (85回)



4月東京大学入学。野球部に入部し選手登録される。数年前明治大学に在籍した米人女性に次ぐ、日本人女性としては史上初の東京六大学女性登録選手として話題を集める。

新潟高校には3年生の4月に編入。前の学校で入っていたソフトボール部はなく、野球部への入部も叶わなかったため新潟高校では部活動に参加せず。

最近下手投げに変えたというサウスポーの竹本さんは、オジサン世代の私たちからすれば『東大の水原勇気』？

《気になる戦績は？》

昨年秋の東京六大学新人戦で初登板。打者1人に対するが残念ながら四球。今年8/22対東京工業大学のオープン戦では4番手で登板し2回を投げ見事初勝利を飾る。東工大野球部OBでもある私は複雑な気持ち。

《取り囲んでいじめた人は？》

東京青山同窓会の栗林貞一会長(59回)、事務局長の日下部朋子さん(82回)の他は、野球部OBで固める。藤縄利勝さん(75回)、平尾俊彦さん(79回)、佐野栄二さん(83回)、そして私星野紹英(84回)。平尾さんは東大野球部の先輩でもある。栗林会長は野球部ではないものの竹本さんの大学の先輩。

《お話の内容は？》

話題の中心は東大の歴代プレーヤー。栗林会長が懇意にしている自由党の藤井裕久幹事長はかつての東大のキャッチャー、日米大学選手権の代表に選ばれた唯一の東大選手の大越健介投手(88回)は同窓で、現在NHKの記者をしてい

る、等々。さらには、東大歴代有数のスラッガーである平尾さん、高校時代投手だった藤縄さんからは、それぞれの経験に基づいたアドバイスが竹本さんに寄せられる。そして、竹本さんのお母様(旧姓浅野泰子さん)も80回卒業の同窓生で、ナント事務局長の日下部さんとは現役時代陸上部で一緒に練習した間柄だったことも判明。一同、世間で狭いモンだと感心す。

《最後に》

竹本さんはキリリとした面立ちでキビキビとした身のこなし。11月14日の総会には、もう一人の現役東大野球部員の成澤良君(106回)と出席することを約束。みなさん今後の彼女らに活躍に声援を送りましょう。この日夜日本女子ソフトボールチームは金メダルを逃した…。



女性左腕デビュー 東京六大学 朝日新聞朝刊 平成11年11月5日

イタリアはローマ、チネチッタでの出会い。新潟の小林デパートの隣、グランド劇場で見た映画「ベン・ハー」の競馬シーンに出てきたような気がします。(写真右)フェリーニの映画の原点は、ここにあり。彼の生まれた、アドリア海に面したリゾート都市リミニでの写真。さてこれから何が始まるのでしょうか。(写真左)
現在、主に現代美術の写真撮影の仕事をしています。何卒宜しくお願い致します。

■連絡先
奥村 基(85回)
〒336-0016
埼玉県浦和市大谷場1-12-10
Tel:048(885)1364



平成12年度 東京青山同窓会 総会のお知らせ

【日時】

平成12年11月17日(金)

p.m. 6:00 受付開始

p.m. 6:30 開始

【会費】

一般・8000円

女性・5000円

大学生・3000円

【会場】

東京・紀尾井町

ホテルニューオータニ

「おり鶴・麗の間」

(本館アーケード階)

千代田区紀尾井町4-1

TEL. 03-3265-1111 (代)

【懇親会】

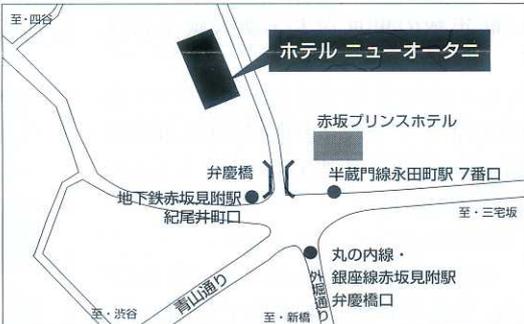
着席buffeパーティー



【アトラクション】

オペラ落語：ウーロン亭茶太郎

昭和30年山口県岩国市生まれ、15才より声楽の勉強をはじめ、東京芸術大学音楽学部声楽科を受験するも失敗、慶応大学文学部卒業後、32才より落語修行に入り、オペラ落語を創作、以後オペラ落語家として落語会や、教養講座にて活躍中。



最寄り駅

【永田町駅・徒歩3分】半蔵門線(7番出口)

【赤坂見附駅・徒歩3分】丸の内線・銀座線(紀尾井町口)

【学年幹事紹介】

自選他選の学年幹事の皆さんです。年2回の会合や偶数月第2火曜日の会などで活躍していただいています。幹事不在の学年の方の立候補を心よりお待ちしております。(事務局談)

◆学年幹事◆

40回	高田 信川	71回	小飯塚 豊
42回	丸山 平次	71回	佐野 茂之
43回	田中 一郎	72回	富田 由李
44回	斎藤 伸雄	73回	遠藤 裕久
46回	富所 強哉	74回	池 一
49回	内田 文雄	74回	菊池 隆
50回	瀬谷 誠	74回	佐藤 信秋
51回	浅見 信夫	74回	竹之内 明
52回	斎藤 泰五郎	74回	竹之内 美和
53回	岩原 昭	74回	渡部 終五
54回	佐藤 良策	75回	有蘭 順子
53回	林 博	75回	小田 正基
54回	安達 信吾	75回	佐藤 邦雄
55回	阿尻 威吾	75回	高橋 正
56回	三崎 正一	75回	波田野 直樹
58回	福田 満	76回	田中 邦直
58回	宗村 泰四郎	76回	長北 学
59回	園城 英二	77回	北村 一雄
59回	栗林 貞一	78回	肥田 博子
59回	茂泉 喜彦	79回	吉田 英幸
60回	池浦 厚司	80回	位田 和彦
60回	金山 常吉	80回	沖野 謙
60回	小林 満	80回	横尾 和儀
60回	高城 英雄	81回	白井 秀樹
60回	高橋 進	81回	若松 力
60回	益子 恒徳	82回	日下部 朋子
60回	三国 泰彦	82回	小池 康男
61回	安宅 久憲	82回	小亦 斉
61回	風間 博	82回	西山 活子
61回	小林 元雄	82回	宮村 伸一
61回	中村 正春	83回	佐野 栄二
62回	石田 寛	84回	太田 淑子
62回	三浦 愛三	84回	木村 正芳
63回	相墨 直彦	84回	島津 孝
64回	川崎 明	84回	星野 紹英
64回	坂井 俊一	84回	堀江 俊子
64回	中島 仁	85回	奥村 基
64回	山根 伸之	85回	久保田 浩一
65回	佐藤 武行	85回	関 史枝
65回	田代 良雄	86回	茅原 裕一
66回	捧 精一郎	87回	渡辺 政城
66回	塩谷 芳彦	89回	倉田 裕一
67回	大野 隆治	90回	木村 和人
67回	片桐 靖忠	92回	上杉 恒彦
68回	重野 康人	96回	鈴木 周
68回	鈴木 裕徳	99回	関口真太郎
69回	太田 博道	101回	佐野 健太
69回	矢川 一義	104回	古泉 聡洋
70回	金子 正史	105回	藤田 武彦
70回	山本 憲久	105回	柳通 ござえ

同窓会年会費 自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらぬ「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の総会の受付までお申し出下さいませ。



郵便局に出かける手間が省けます

振替手数料が無料になります

IDカードとしてお持ちください

【すでに同窓会カードをお持ちの会員様へ】

年会費自動引き落としのお知らせ

平成12年度(平成12年10/1～平成13年9/30とします)同窓会年会費(2000円)を平成12年11/27頃ご指定の口座よりお引き落としさせていただきます。(残高のご確認をお願い致します。)

住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう？」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを実費にてお届けいたします。

ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、右記の費用(切手にて)を同封の上、事務局までお送り下さい。

- 住所リスト
1学年/1500円分の切手
- 宛名ラベル
1学年/2000円分の切手

■訃報■

平成12年6月の返信にてお知らせいただいた方々です。

安藤 公平	(36回)
入山 芳雄	(36回)
小沢 信夫	(38回)
佐々木 庫一	(42回)
斎藤 浩一	(47回)
中条 新三	(47回)
三浦 順之助	(48回)
村木 欣一	(51回)
和具 輝雄	(51回)
栗原 一也	(52回)
豊岡 富栄	(52回)
川崎 尚一	(56回)
波多野 正英	(60回)
斎藤 信	(67回)
関川 健太郎	(102回)

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成11年度・会費納入者一覧

H10.10.1~H11.9.30現在まで

36回(2名)	上杉 栄一	大川 宏	今井 忠平	奥村 陽彦	納谷 喜郎	浅見 昭夫
八木 博	富所 強哉	大滝 映夫	佐藤 幸喜	佐藤 明夫	牧 泰彦	栗山 誠之
福田 謙也	47回(3名)	田中 芳彦	坂井 洲二	佐藤 格	茂泉 喜彦	草間 光俊
37回(1名)	斎藤 浩一	北村 茂	三崎 正一	斎藤 茂	60回(35名)	村山 健
馬場 幸一郎	斎藤 しょう太郎	鈴切 康雄	三上 昌	細貝 実	益子 恒徳	大橋 恒夫
38回(3名)	倉田 四郎	52回(15名)	山口 和郎	山崎 克己	岡村 嘉志	谷田部 信
丸山 岩三	48回(5名)	阿部 穆	山城 教成	山谷 皓栄	河田 鐵雄	朝日 明
高野 政夫	佐藤 素一	阿部 和夫	山中 紀行	指宿 敬里	丸山 敏視	長橋 徳衛
大沼 正一	小池 清泰	塩田 欣彌	山田 幸輝	宗村 泰四郎	岩田 暁一	長沼 雄峰
40回(4名)	石本 三郎	橋本 義行	山田 陸男	植村 末哉	宮田 庄之助	長谷川 義明
会田 俊雄	田中 利男	佐藤 昭三	山本 幸正	浅田 秀雄	金山 常吉	長谷川 耕一
高田 信川	渡辺 徹	斎藤 泰五郎	残熊 謙一	村山 保	高橋 進	長谷部 良雄
小山 賢市	49回(18名)	斎藤 茂美	市川 千尋	大門 啓治	高橋 正樹	鶴巻 正義
田中 芳郎	井上 正	坂井 保也	鹿兒島 昌雄	池田 成義	高橋 明男	田村 文男
41回(5名)	梶原 計佐	児島 壽一	柴垣 寛	田中 浩次	高城 英雄	田中 宣
伊藤 一雄	梶山 勝清	浅田 稔	宗村 禎三	田中 俊男	佐藤 孝	田中 忠夫
五十嵐 富郎	工藤 弘安	湯木 昭二郎	小松 重男	落谷 秀雄	山崎 良一	藤井 修三
真島 繹四郎	広川 弘	北村 新平	小島 直孝	片桐 欣哉	山本 淳夫	木村 政雄
5名 孝平	佐藤 博	木原 陽	小嶋 秩夫	片桐 啓三	市村 哲	木田 満洲男
布施 栄信	小黒 義一	廣川 勲	松井 昭五	保倉 昭司	小出 直	62回(35名)
42回(7名)	小田 登	廣川 昭二	照木 仁	望月 和明	小川 秋実	安食 恒昭
塩谷 正雄	仁保 武人	53回(11名)	菅原 惇	堀内 俊夫	小池 健治	皆川 重
高橋 二郎	赤松 元敏	岩原 昭	成田 順治	本永 祐嗣	小林 満	角家 孝之
相澤 康平	滝沢 信義	近 泰男	清水 隆	毛利 剛	清水 悌作	岩田 亮司
田中 正吾	池田 純一	近藤 圭二	清野 誠二	59回(39名)	石黒 忠士	近藤 哲朗
東城 真佐男	中村 廣徳	佐藤 良策	斉川 和平	阿部 進	石田 章	熊谷 恒夫
浜田 収二郎	内田 文雄	山田 豊	石田 恒良	園城 英二	早武 正博	広田 俊夫
片山 彦三	白川 保	盛山 淑郎	石田 智	岡田 久	中田 亨	高橋 健一
43回(12名)	木村 竜一	石原 孝	赤坂 長弥	下條 貞友	長谷川 秀三	佐藤 勝彦
小沢 省三	廣川 浩一	中島 常雄	川田 幸雄	河野 誠	長谷川 信夫	佐藤 武司
倉井 清	濱 博世	渡辺 義隆	増田 祐孝	花井 進	田代 十一郎	三浦 愛三
早船 春洋	50回(18名)	飯島 金志良	村松 茂樹	皆川 潔	藤本 剛	山崎 敬介
村山 登	一柳 俊夫	堀 時男	大野 利夫	笠井 駿	徳田 浩一	小黒 昌一
滝澤 義雄	岩澤 信夫	55回(10名)	中山 昭一	吉田 陽吾	富山 和夫	小池 健治
田中 一郎	高橋 修	阿尻 威吾	中川 彰	牛木 素吉郎	野村 保夫	小島 研也
徳重 茂	佐藤 剛一	吉原 賢二	中川 邦司	金巻 久	矢川 和偉	新保 利博
梅田 悌次	寺田 秀夫	佐藤 眞作	中村 晃	櫛谷 全一	落合 夏樹	石黒 恒
6名 武	時田 勇司	新井 勝龍	中沢 蔚	栗林 貞一	鈴木 章司	曾我 健
7名 信城	小黒 晴夫	星 健	中島 顕	栗林 洋	廣瀬 欽次郎	村木 隆
野澤 正男	小黒 聡	青木 正作	朝比奈 和三	高橋 晴夫	61回(40名)	大高 康夫
里見 昌宏	松原 明	齐藤 健一	長岐 豊	高橋 正利	伊藤 英子	中山 敏彦
44回(9名)	瀬谷 誠	倉茂 周明	庭山 六郎	高山 昇二郎	磯野 啓	中村 義一
錦織 登美夫	西村 明忠	中村 幹男	田村 量一	山吉 一成	稲垣 甫玄	中村 忠彦
金子 一夫	青樹 敬一	中村 正義	田代 九郎	山崎 徳左衛門	遠藤 時郎	中野 義一
広川 勇一郎	村山 一	56回(70名)	渡辺 友也	山田 陽一	横村 一郎	田子 元
佐藤 敬雄	中村 晴信	逢坂 七郎	藤田 和夫	若木 滋	河井 良三	田中 毅
斎藤 伸雄	塚野 俊彦	伊藤 昶	白勢 陽一	渋谷 幸三	河辺 全也	田中 照雄
坂井 健一	藤井 義良	井上 菊雄	飯島 昌弥	小熊 英夫	丸山 通夫	渡辺 千里
前山 金一郎	敦賀 博	永井 喜八郎	落谷 颯児	小城 一廣	牛木 耿吉郎	藤井 則忠
倉 耕一	米田 公一	塩見 戎三	伏見 康	小村 幸久	金子 章	藤原 岑子
堤 清平	51回(15名)	加藤 勝則	北村 晴四郎	小池 和男	熊谷 隆幸	内山 隆之
45回(6名)	笠井 謙	木村 直平	堀 藤四郎	小林 謙二	高橋 駿	帆苺 宏典
金澤 武	笠原 仰二	久慈 正彦	鈴木 正安	水沢 邦弘	佐藤 敏夫	本井 孝至
川村 明義	丸山 幹男	久保田 剛敏	鈴木 正身	西野 武	小池 弘	嶺 国和
大滝 俊夫	坂野上 啓	近藤 源也	鈴木 寧	大島 洋一	小嶋 哲夫	鈴木 勉
品田 弘	上野 仁	金子 昌次郎	57回(3名)	池田 正文	小林 孝司	63回(15名)
本島 哲三	清野 武治	建部 恒彦	横山 信弘	長橋 敏雄	小林 元雄	阿部 隆二
野瀬 秀雄	斉川 正二	原 英二	川口 政行	長島 一郎	杉山 由人	井上 久司
46回(4名)	千葉 繁太	幸田 慶治	本田 勝	渡辺 敏男	西澤 良地	皆川 守
下 勇	浅見 信夫	荒井 宏	58回(25名)	渡辺 満	赤堀 和郎	梶原 哲郎
山田 市男	大山 龍藏	高見 久義	永井 克孝	藤原 幸雄	川崎 栄一	金川 博

東京青山同窓会会報

五十嵐 健治
 五十嵐 信一郎
 高橋 良行
 山田 恵一
 鬼玉 賢司
 西村 允
 村山 弘義
 馬場 政説
 白倉 至
 會 正之
64回(48名)
 阿部 欣司
 安藤 勝利
 吉川 要輔
 吉田 豊祐
 牛木 容三郎
 桑野 光雄
 高橋 正幸
 高見 浩
 佐藤 章
 坂井 敬
 坂井 俊一
 坂本 昌弘
 笹川 弘
 三國 六朗
 山根 伸之
 植村 鞆音
 新谷 昂司
 真壁 日史郎
 須田 嶺治
 星 満
 清水 裕子
 清水 良男
 青野 啓
 斉木 幸彦
 石井 正巳
 川井 文夫
 川口 徹
 川崎 明
 早川 周作
 太田 健治
 大石 正晃
 大倉 孝男
 中山 典彦
 中川 純子
 中村 輝久
 中島 仁
 津野 慶浩
 田巻 亮
 田才 邦彦
 田村 康一
 田伏 正樹
 嶋岡 洵
 品田 亘
 平林 伸一
 柄沢 茂
 堀 健次
 木山 清
 和田 弘治
65回(25名)
 伊藤 忠明
 宇佐美 快昭

加藤 純一
 河路 明夫
 丸山 一敏
 久保田 泰雄
 近藤 昭雄
 五十嵐 徹
 佐藤 貞夫
 佐藤 武行
 三浦 進次
 三林 輝夫
 山崎 耕一
 山田 誠之輔
 山本 和親
 柴澤 大五郎
 渋谷 皓
 小沢 征夫
 水野 左敏
 浅田 和之
 村木 利夫
 池野 浩
 半澤 貢
 本間 英男
 本間 忠彦
66回(22名)
 阿部 三男
 塩崎 公男
 塩谷 芳彦
 吉田 六左工門
 熊谷 國男
 佐々木 紀美子
 佐藤 文孝
 三井 昌子
 室 由紀子
 石山 芳春
 川原 英夫
 村上 紀光
 丹羽 真彦
 田中 澄夫
 内田 定寛
 二宮 靖彦
 半澤 弥栄子
 風間 聡一
 捧 精一郎
 木下 功
 野水 宏樹
 鷺頭 陽一
67回(16名)
 岡崎 功
 吉田 一郎
 高橋 信夫
 佐々木 邦夫
 山田 十市
 山田 尚男
 寺井 宏
 小野 勝義
 神田 昭紀
 西 章
 石井 幹男
 川崎 昌彦
 前田 康久
 大野 隆治
 片桐 靖忠

片山 忠一
68回(26名)
 阿部 美和子
 安達 雅巳
 安達 賢司
 近藤 貞雄
 近藤 和久
 後藤 林八
 江上 雅子
 佐々木 賢介
 佐藤 敏
 寺尾 正大
 重野 康人
 小野塚 芳雄
 松橋 英夫
 松原 伸子
 上村 嶺子
 進藤 喜代子
 増子 藤男
 村山 弘
 滝沢 猛
 竹石 肇
 中村 秀子
 田辺 紀子
 渡辺 千艦
 渡辺 泰彦
 浜田 庄司
 鈴木 裕徳
69回(10名)
 外川 克之
 高杉 昭二
 佐藤 孝靖
 山田 建男
 清水 一男
 青木 利祐
 中俣 達
 田中 正人
 樋口 正臣
 服部 千尋
70回(20名)
 岡崎 絃子
 岡田 利邦
 加藤 邦絃
 花輪 治
 関根 俊明
 魚谷 茜
 金子 正史
 佐川 幹恵
 佐藤 増穂
 斎藤 秀則
 山宮 士郎
 山田 修
 松木 孝
 石井 堅一
 川田 昌人
 田辺 豊
 渡部 美那実
 土田 進
 福島 治
 野川 晃一
71回(12名)
 河野 昌子

高橋 絃生
 高橋 直樹
 小沢 和子
 小飯塚 豊
 小林 碧
 太田 裕
 中村 英一
 長谷川 朝子
 内山 博勝
 柄沢 卓
 堀 清忠
72回(22名)
 花沢 満
 戸田 満弘
 荒川 幸夫
 高橋 忠
 黒木 トシ子
 佐藤 修
 細谷 長貞
 笹谷 秀穂
 勝見 修
 小川 省三
 小林 正昭
 松永 宏五
 神林 賢治
 菅又 滋
 斉藤 俊正
 早福 千鶴
 太刀川 圭一
 田中 一成
 渡辺 毅之
 島村 礼子
 富田 由李
 有山 敬子
73回(8名)
 阿部 裕
 松浦 則之
 成田 常也
 石黒 久
 中村 陽子
 田辺 研吉
 渡辺 忠明
 堀内 隆弘
74回(23名)
 横川 三男
 加藤 直久
 加藤 博
 加門 文隆
 菊池 隆
 江口 則男
 高橋 保
 佐藤 浩
 佐藤 正也
 小竹 孝之
 小木 恵介
 西田 百合子
 青海 潔
 石井 拓男
 石山 范
 糟谷 好邦
 大橋 秀隆
 大石 憲一

大滝 均
 池 一
 波多腰 明
 藍沢 幹人
 和泉 潤
75回(29名)
 遠藤 十三
 笠井 忠
 橋爪 博美
 玉木 廣
 高橋 正
 高木 久夫
 佐藤 邦雄
 山根 英郎
 山崎 信行
 山田 宏明
 小泉 慈行
 石塚 文雄
 千田 武
 川上 滋
 曾我 正男
 村山 勝
 大越 公平
 大原 哲三
 大塚 恵子
 大野 敏雄
 渡部 一俊
 藤縄 利勝
 波田野 直樹
 八木 健
 野崎 茂
 有蘭 順子
 檜ヶ谷 正道
 萬歳 信行
 霍間 良介
76回(21名)
 加澤 正樹
 海部 和史
 久住 呂克太郎
 近藤 壽邦
 古川 恒一
 小宮山 信男
 小田 高久
 松田 行雄
 森田 満
 太原 まゆみ
 大山 寛
 長北 学
 天野 直二
 田村 俊作
 田中 邦直
 渡辺 雅夫
 渡辺 拡
 湯本 雅恵
 尾張 明美
 平野 茂樹
 北畠 彰
77回(4名)
 斎藤 實
 長谷川 実
 片山 等
 北村 一雄

78回(8名)
 吉澤 哲彦
 高井 博英
 篠田 敏朗
 水野 秀樹
 清田 潔
 村田 光男
 肥田 博子
 味方 登
79回(5名)
 河 正子
 星名 健二
 西口 幸男
 田中 勝
 林 綾子
80回(8名)
 横尾 和儀
 岩橋 浩司
 玉木 友二
 原 永庫
 市川 隆
 小野 秀子
 大関 潤
 長 正子
81回(12名)
 玉木 勝一
 近藤 敦
 広井 恵子
 広島 勉
 荒川 洋
 笹川 典男
 松村 裕子
 上村 隆
 成海 孝二
 中山 至
 白井 秀樹
 尾山 尚
82回(5名)
 小亦 斉
 西山 活子
 長谷川 康子
 渡辺 洋一
 日下部 朋子
83回(5名)
 遠藤 光郎
 横山 修
 山口 虎彦
 浅間 芳朗
 鈴木 時男
84回(6名)
 加藤 仁
 新宮 和生
 星野 紹英
 大須賀 郷子
 大島 明
 田崎 正巳
85回(17名)
 磯西 徹明
 奥村 基
 宮本 文子
 橋本 到
 桑原 敦志

古谷 義昭
 江畑 真一
 荒井 裕子
 今井 豊重
 松下 正寿
 森 大輔
 杉山 真理子
 杉林 亨
 西山 信好
 田村 誠
 登坂 和生
 本間 昭
86回(7名)
 角田 智子
 宮腰 重三郎
 広田 淳子
 斎藤 健
 大関 博久
 長田 敏哉
 田中 利直
87回(5名)
 小柴 孝子
 小林 徹
 田口 操
 渡辺 政城
 南 正人
88回(4名)
 諸橋 博樹
 小竹 聡
 斉藤 均
 布施 明
89回(3名)
 伊藤 真美
 岩野 尚子
 中野 まさみ
90回(4名)
 雨夜 喜美子
 歌代 真人
 勝山 達志
 田辺 文
91回(1名)
 酒井 祐司
93回(1名)
 天倉 真一
95回(1名)
 橋田 篤英
96回(1名)
 鈴木 周
97回(1名)
 渡邊 英典
102回(1名)
 池田 哲郎
107回(1名)
 熊谷 政文
108回(1名)
 山口 智恵子

以上793名